

「真のワーク・ライフ・バランス」推進事業について

1 平成28年度主要事業実績

(1) 「真のワーク・ライフ・バランス」推進計画（改定版）の策定

平成24年度から平成32年度までの9年間を計画期間とする、「真のワーク・ライフ・バランス」推進計画について、中間見直しを行い、改定版を策定した。

改定内容については、推進計画に記載している「真のワーク・ライフ・バランス」推進の基本的な考え方を継承しつつ、社会情勢を踏まえて、「働き方改革の推進」や「女性活躍推進」に係る取組等を追加するとともに、推進計画の実効性を高めるため、新たに毎年度の事業計画を策定し、進捗確認を行うこととした。

ア 主な改定内容

- (ア) 「働き方改革の推進」や「女性活躍推進」等の社会情勢等を踏まえた取組の追加
- (イ) 推進計画（後半期）の取組の視点の追加
- (ウ) 平成27年度に策定した第4次京都市男女共同参画計画（改定版）の反映
- (エ) 市職員が「真のワーク・ライフ・バランス」を率先垂範するための取組の追加
- (オ) 推進計画の実効性を高めるための毎年度の事業計画の策定

イ 市民等からの意見聴取

推進計画の見直しに当たっては、京都市男女共同参画審議会委員や「真のワーク・ライフ・バランス」に関連する市民や経済団体等12団体との意見交換会から聴取した御意見、平成29年1月に実施したインターネットアンケート調査等において聴取した意見を踏まえて、見直しを行った。

(2) 企業対象の主な取組

ア 京都市「真のワーク・ライフ・バランス」推進企業支援補助金の交付

- 企業における環境整備の促進のため、育児・介護と仕事の両立支援、長時間労働の解消や年次有給休暇取得の促進等、働き方の見直しに取り組む中小企業を支援
- 実効性、継続性その他必要な項目について選考委員会※の意見を聞き、交付対象企業・金額を決定

※ 選考委員会：京都市男女共同参画審議会委員から選出した委員のほか、オール京都関係機関の協力を得ている。

- 平成28年度実績：申請企業数 23社、認定企業数 20社、交付企業数 18社（2社辞退）
交付総額 3,489,000円（1団体上限30万円）

《平成28年度の主な申請例》

- ・ 先進的な休暇や休業を導入するための就業規則の改定
- ・ 従業員向けの研修の実施
- ・ 在宅勤務の推進に関する機器の導入
- ・ 勤怠管理システムの導入

イ 京都市「真のワーク・ライフ・バランス」推進企業表彰の実施

- 「真のワーク・ライフ・バランス」の推進を通じて男女共同参画社会の発展に特に貢献すると認められる実績があり、その活動等が他の企業等の模範となり推奨できる企業を表彰
- 対象企業は、京都市内に本社又は事業所のある「京都モデル」ワーク・ライフ・バランス推進企業認証制度の認証企業、旧「きょうと男女共同参画推進宣言」登録企業のうち従業員数300人以下の企業及び過去に京都市「真のワーク・ライフ・バランス」推進企業補助金を交付した企業（計230社）
- 対象企業にアンケートを実施し、取組内容による点数の順位が上位になった企業を候補企業として抽出、さらに取組の具体的内容について聞き取り調査を行ったうえ、選考委員会（*補助金に同じ）で選考（アンケート回収企業計100社、回収率43.5%）

【平成28年度実績】市長賞 株式会社オックス・クリエーション

ウ その他

- 産業観光局等との共管により企業対象のCSR研修会を実施し、企業の社会的責任（CSR）の一環として「真のワーク・ライフ・バランス」に取り組むことを推奨
【平成28年度実績】1回実施（参加人数40名）
- 京都府との連携により、輝く女性応援京都会議主催の事業者対象セミナーを実施
【平成28年度実績】2回実施（延べ参加人数26名）

(3) 市民対象の主な取組

ア 京都市「真のワーク・ライフ・バランス」実践エピソード募集及び表彰

- 「イクメン」、「地域活動」等の身近なテーマを設定して市民（個人・団体）の取組事例を募集
- 応募作品の中からより詳しく市民に紹介したい作品を選定し、「真のワーク・ライフ・バランス」実践エピソード表彰としてウイングスフォーラム2016において表彰
- 選考委員会：京都市男女共同参画審議会委員から選出した委員で選考
- 平成28年度実績：応募作品数 50点（応募人数40人・2団体 *複数点の応募者あり）

【テーマ別作品数】

区分	テーマ	応募件数
個人	テーマA：イクメン、イクジイ、カジダン体験談	10
	テーマB：家事だけじゃもったいない！時間活用奮闘記	4
	テーマC：仕事と生活の両立術	15
	テーマD：部下の味方「イクボス」実践中、私の職場のスター「イクボス」	5
	テーマE：地域デビュー・ボランティア体験記	14
団体	テーマF：私たちがつなぐ！地域の絆（団体応募）	2
合 計		50

- 平成28年度表彰：市長賞 1点、特別賞 1点、佳作 1点

(4) 「真のワーク・ライフ・バランス」コーディネート窓口の設置（平成26年3月18日開設）

相談コーナーや情報掲示板、関係機関のホームページとのリンク等によりウェブ版コーディネート窓口としての機能を有するポータルサイト（情報検索の入口となるウェブサイト）を運営しており、親子で参加できるイベントの情報等を発信している。

京都 style「真のワーク・ライフ・バランス」応援WEB <http://www.kyotostyle-wlb.jp/>

【ポータルサイトアクセス数】

年度	アクセス数
平成26年度	11, 104件
平成27年度	50, 313件
平成28年度	10, 775件

(5) 「真のワーク・ライフ・バランス」の推進に係るオリジナルキャラクターの制作

「真のワーク・ライフ・バランス」の理念を浸透させるためには、市民にとって分かりやすい広報啓発を行う必要があるため、「真のワーク・ライフ・バランス」の理念を分かりやすく表現するキャッチフレーズと親しみを持てるオリジナルキャラクターを公募により作成した。

ア 募集期間

平成28年9月1日（木）～10月31日（月）

イ 募集結果

- ・ キャラクター 36点（うち、京都市在住者からの応募 19点）
- ・ キャッチフレーズ 157点（うち、京都市在住者からの応募 22点）

ウ 選考

キャラクターについては、選考委員による1次選考で選定した6点について、市民投票を実施し、投票結果を踏まえて、最終選考を実施し、最優秀賞、優秀賞を各1点決定した。キャッチフレーズについては、選考委員において選考し、最優秀賞、優秀賞を各1点決定した。

エ 今後の活用について

最優秀賞を受賞したキャラクターとキャッチフレーズを一体化したものを「真のワーク・ライフ・バランス」啓発キャラクターとして、各種印刷物やホームページ等で継続的に活用する。

【「真のワーク・ライフ・バランス」啓発キャラクター】



＜キャラクターの名前＞

バランス鳥の^{まこと}真さん

＜キャラクターのプロフィール＞

仕事に子育て、趣味の時間など、バランスをとるのが得意な中年サラリー鳥。趣味はヨガやボランティア活動。家事もしっかりこなします。背中にいる生まれたばかりの子どものために、育児休業を取ろうか考え中。仕事ばかりで家に帰らないと、トサカがはずれゆで卵のような頭になることも！？

「真のワーク・ライフ・バランス」の考えを広めるため、様々なイベントに積極的に参加していきます。

(6) 結婚を望む人を応援する「婚活支援事業」の推進

ア 京都市婚活支援事業実行委員会主催事業

京都市婚活支援事業実行委員会（京都商工会議所青年部、京都市）の主催により、「京都婚活2000」及び民間委託事業を実施。

(7) 京都婚活2016

平成28年11月13日（日）に京都市勧業館みやこめっせ及び岡崎地域で実施。募集人数300人に対し、男性275人、女性661人（計936人）の応募があった。

(イ) 民間委託事業

● 「クッキングde京都婚活」

共同で調理をしながらの婚活「クッキングde京都婚活」を、平成28年12月から2月に掛けて、計5回実施。募集人数160人（各回32人）に対し、男性120人、女性264人（計384人）の応募があった。

● 「きよみずde京都婚活」

陶器の絵付け体験等を通じて文化に親しみながら交流する「きよみずde京都婚活」を平成29年2月26日（日）に開催。募集人数50人に対し、男性95人、女性221人（計316人）の応募があった。

イ 京都市婚活推進事業支援補助金の交付

結婚を望む市民に出会いと交流の場を設けるため、民間団体等が実施する婚活事業の活性化を図る。

平成28年度実績：申請：4団体、交付決定：3団体

交付総額：1,023,532円（1団体上限50万円）

ウ ホームページ「こころをつなぐ京都style婚活WEB」の運営及び充実

平成27年3月から京都市で行う婚活イベント等の紹介を行うホームページを運営しており、平成28年度は、地域別デートスポットの紹介ページに「伏見区」を追加したほか、京都市で暮らしたい方への総合的な移住支援を行うサイト「住むなら京都」や京都身体障害者結婚相談所のホームページを紹介するなど、サイトの充実を図った。

【アクセス数】 平成28年度 18,971件

2 平成29年度主要事業

(1) 「真のワーク・ライフ・バランス」認知度アッププロジェクトの推進（『真のワーク・ライフ・バランス』の日」設定事業）

ア 事業目的

「真のワーク・ライフ・バランス」の周知度の向上を図るため、「真のワーク・ライフ・バランス」という言葉や考え方を周知することにより、企業や市民が「真のワーク・ライフ・バランス」を意識し、実践するためのきっかけとする。

イ 「『真のワーク・ライフ・バランス』の日」の考え方について

「真のワーク・ライフ・バランス」の周知度を向上させるためには、「真のワーク・ライフ・バランス」の考え方を特別なものとしてではなく、市民生活を送る中での意識として根付かせることが必要であり、その考え方は「子育て」や「地域コミュニティの活性化」など、本市の施策に幅広く通じるものである。そのため、「『真のワーク・ライフ・バランス』の日」設定事業については、次の視点で取り組む。

- 特定の日に設定し、集中的にイベント等を実施する方法ではなく、各局等で実施する事業を通じて「真のワーク・ライフ・バランス」や「働き方の見直し」について市民に考えていただく日を『真のワーク・ライフ・バランス』の日」として位置付ける。

ウ 実施内容

＜各局等と連携した市民全般への啓発＞

(ア) 各局等が実施するイベントにおける啓発

各区の「ふれあいまつり」等の「真のワーク・ライフ・バランス」に関連するイベント実施日を『真のワーク・ライフ・バランス』の日」と位置付け、啓発ブースの出展等により、「真のワーク・ライフ・バランス」の周知を行う。

(イ) 各局等と連携した啓発チラシ等の作成

各局等で実施する「真のワーク・ライフ・バランス」に関連する事業のチラシや啓発冊子等への「真のワーク・ライフ・バランス」の考え方の掲載、消防団等の団員等の募集時における所管課を通じた「真のワーク・ライフ・バランス」の考え方の周知等により、周知度向上や市民の意識改革につなげていく。

(ウ) 地下鉄広告を使用した啓発

「京都ワーク・ライフ・バランスウィーク」(毎年11月19日～11月25日まで)に合わせて、地下鉄に広告掲出を行う。

＜企業への啓発（企業ごとの『真のワーク・ライフ・バランス』の日』の設定）＞

企業ごとに『真のワーク・ライフ・バランス』の日』を設定してもらい、本市が提示する取組の中から、企業が選択した「真のワーク・ライフ・バランス」に通じる取組を実践してもらうよう、依頼する。

(2) 企業対象の取組

ア 京都市「真のワーク・ライフ・バランス」推進企業支援補助金の交付

- 募集期間：平成29年5月1日（月）～平成29年6月30日（金）
- 選考委員会：日程調整中

イ 京都市「真のワーク・ライフ・バランス」推進企業表彰の実施

- 対象企業は、京都市内に本社又は事業所のある「京都モデル」ワーク・ライフ・バランス推進企業認証制度の認証企業、旧「きょうと男女共同参画推進宣言」登録企業のうち従業員数300人以下の企業及び過去に京都市「真のワーク・ライフ・バランス」推進企業補助金を交付した企業（計230社）
- アンケート実施期間：平成29年5月25日（木）～平成29年6月30日（金）
- 選考委員会：日程調整中

ウ その他

- 産業観光局及び人権文化推進課との共管により企業対象のCSR研修会を実施予定

(3) 市民対象の取組

ア 「真のワーク・ライフ・バランス」実践エピソード募集及び表彰

男性の家事・育児等への参画につなげるよう、男性を顕彰する部門を新たに設け、家事・子育て・介護等の家庭生活と仕事との両立に積極的に取り組む男性のロールモデルを発掘し、顕彰する。

- 募集期間：平成29年6月30日（金）～平成29年8月31日（木）
- 選考委員会：平成29年9月頃を予定
- ※ 選考方法等の詳細（選考委員会前の候補選定も含む。）は後日別途連絡

(4) 結婚を望む人を応援する「婚活支援事業」の推進

ア 京都市婚活支援事業実行委員会主催事業

(ア) 京都婚活2017

- 日時：平成29年11月5日（日）、場所：京都市勧業館みやこめっせ及び岡崎地域
- 募集人数：300人（男女各150人）

(イ) 民間委託事業

「クッキングde京都婚活」に加え、「文化体験」や「京町家」をテーマにした婚活事業の受託事業者をプロポーザル方式により選定。

イ ホームページ「こころをつなぐ京都style婚活WEB」の運営及び充実

平成28年度に引き続き、平成29年度においても、サイトの充実を図る。